

接種を進めるための体制整備の充実や計画的なワクチン接種の実施、接種に関する相談支援など、国や県、医療機関との連携を図りながら進めてまいります。

また、コロナ禍での地域経済支援策や学校、公共施設の感染予防策、行政手続きの簡素化などについても引き続き取り組んでまいります。

### 【人口施策の充実】

2点目は、人口施策の充実でございます。コロナ禍での少子化対策も重要な課題になっておりますが、本町におきましても出生数が想定以上に減少しております。コロナの収束後にはある程度回復するとの見方もありますが、少子化対策は地域の活力・にぎわいはもちろんのこと、高齢化社会を支えるためにも重要な施策であると考えております。

そのためには若者が働き、育てる環境を整えることが重要であるとの考えから、定住施策や

新規就農支援などの施策に取り組みます。

定住施策としましては、引き続き、定住住宅取得補助金をはじめとする各種助成に加え、新たに宅地分譲を進めてまいります。

新規就農支援策としては、空きハウスの再利用を図り、収益性の高いピーマンなどの施設園芸を推進し、担い手確保・支援事業を進めてまいります。

また、団塊の世代が後期高齢を迎えるにあたり、徘徊による事故や行方不明など、高齢者の認知症による問題が全国的に増加してきております。サロンやこぼん体操、生涯学習講座等を活用した高齢者が学び、ふれあう機会を広げ、地域住民が認知症をもっと理解する機会をつくり、地域で見守り助け合う社会を作り上げるよう進めてまいります。

### 【スポーツ・観光施策の充実】

3点目は、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅を

活かしたスポーツ・観光施策の充実でございます。東京オリンピックに向けた事前合宿施設としてはもちろん、国内トップレベルの競技者からも高い評価を受けている施設であります。トップレベルの選手から地元のお好家までが集える取組みを行いながら、「陸上競技の聖地」として更なる高みを目指してまいります。

### 【安全対策及び防災対策の充実】

4点目は、コロナ禍を踏まえた安全対策及び防災対策の充実でございます。

近年の異常気象は年々激しさを増す中、令和2年7月豪雨災害は本町のいたるところに爪痕を残しました。道路や農地、農道などの災害復旧工事を着々と進めているところでございますが、橋りょうなどの本格的な工事はこれからでございます。これまででの生活を少しでも早く取り戻すために計画的に災害復旧に努めてまいります。

また、新たな課題となったコ

ロナ禍での避難所における3密対策の検討や7月豪雨災害などの過去の豪雨災害の経験を基にした事前防災対策の視点をたつた河川の維持管理など、柔軟な対応を進めてまいります。

あわせて、本庁舎横にある急傾斜地の防災対策も引き続き進めながら、住民の安全対策に努めてまいります。

大きく4点ほど申し上げますが、大崎町持続可能なまちづくり条例にあるように「美しいふるさと大崎町を持続可能なまちとして、次世代に引き継ぐ」ために、本年4月からの本格稼動を予定している大崎町SDGs推進協議会を核としたSDGs未来都市の実現に向けた取り組みを推進するとともに、ウイズコロナ、そしてポストコロナに対応するための施策をひとつずつクリアしてまいりながら、各般の施策に全力で取り組んでまいります。